

大学図書館での学習支援

ー限られたスタッフ・予算・時間の中での創り出し方ー

■講師



玉岡 兼治(聖カタリナ大学 図書課 課長補佐)

平成2年から聖カタリナ女子大学(当時)図書課に勤務。現在は逐次刊行物受入・ILL・図書館利用指導担当。学生の図書館利用指導については、画一的な説明ではなく、学生の実態や理解度に沿い、学生各自が使い方の分かる方策・実践について着任以来取り組んできた。平成20年度国立情報学研究所学術情報リテラシー教育担当者研修修了。平成22～23年度SPOD次世代リーダー養成研修受講(1期生)平成24年1月修了。



亀岡 由佳(徳島大学 学務部 図書館企画課 利用支援係)

平成17年10月 徳島大学に採用、附属図書館の情報サービス係に配属。その後、利用支援係、図書情報係、雑誌情報係を経て、現在は再び利用支援係に所属。講習会の開催や教員との授業連携、図書館で活動する学生団体のサポートなど、主に図書館における学修支援関係業務を担当している。



山本 哲也(四国大学附属図書館 学術情報課 課長)

国立大学附属病院勤務を経て、1991年から四国女子大学(現:四国大学)附属図書館に勤務し現職に至る。著作に「岡本韋庵とその時代」や故上野英信氏の筑豊文庫関連等の論文がある。得意技は「引越し」。

■プログラム概要

大学図書館での学習支援については、平成22年に出た「大学図書館の整備について(審議のまとめ)ー変革する大学にあって求められる大学図書館像ー」でも明文化されていますが、近年の学生の特徴の変化や講義形式の変化ともあいまって、ますますその必要度は高まっています。しかしその反面、大学図書館でも予算の削減や図書館スタッフの削減で、図書館業務として学習支援にまではなかなか踏み出せない、という現実問題も抱えています。

そのような中で本プログラムでは、まずお互いの大学での問題点を出し合って学習支援を阻んでいる課題を共有しあい、その後こうした克服すべき課題をもとに、それではどのような学習支援のプランができるのか、グループでのワーク形式で実際に作成してみよう、という内容です。図書館というタイトルは付していますが、図書館職員だけでは解決できない課題です。関心のある方であれば広く参加を歓迎いたします。

■主な受講対象

大学図書館の学習支援に関心のある教職員であればどなたでも

■本プログラムの到達目標

1. 自校における大学図書館の学習支援についてそのニーズを説明することができる。
2. 大学図書館の学習支援の方策や先行事例について説明できる。
3. ニーズにあった学習支援のプランを設計することができる。

■日時・会場

日 時 : 平成27年8月27日(木)10:00～12:00

会 場 : 愛媛大学 城北キャンパス

■備考

受講決定後、当日の資料・グループ分けの参考のために事前アンケートをお願いします。